

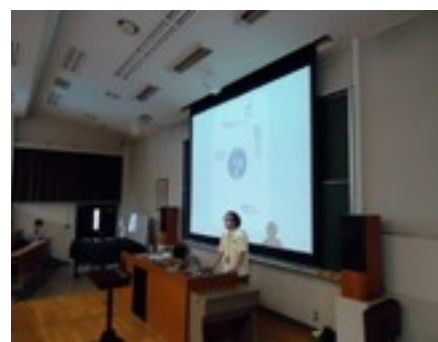
東日本大震災をふりかえり、今を見つめ、対話する『未来をつくるBOOK』

『未来をつくるBOOK』は、主に被災地から遠く離れた場所で、それぞれの大震災を体験した子どもと大人が、もう一度、そのとき起こったことを思い出し、より深く被災地のことを知り、大切にしたいことは何なのかを深く見つめ、探る時間に出あうために作りました。

震災を機に見えてきた社会のほころびや、本当に大切なことについて、さまざまな場所以对話を生み出すこと、被災地のことを忘れず復興への思いを持ち続けること、そしてどのような未来をつくりたいのかを問い続けること、それが持続可能な社会づくりにつながっていくと私たちは信じています。



写真左 神奈川県立七里ヶ浜高校



写真右 青山学院大学



ESD学校教育研究会では、東日本大震災をふりかえり、今を見つめ、対話する『未来をつくるBOOK』を活用し小中高・大学で授業やワークショップを行っています。

防災教育だけでなく、環境教育、福祉教育、人権教育、開発教育、国際理解教育、まちづくり、男女共同参画などの幅広い教育としてのESD（持続可能な開発のための教育）で、人々と地域・世界の未来をつくり、批判的に思考・判断する力、未来像を予測して計画を立てる力、多面的、総合的に考える力、コミュニケーション行う力などを養います。

ESDとはヨハネスブルグサミットにおいて日本が提唱し実現した「国連持続可能な開発のための教育の10年」は、2005年から2014年迄行われる「持続可能な開発のための教育＝Education for Sustainable Development」のことであり、これは社会・環境・経済・文化の視点から、人類が直面する様々な課題に取り組み、公正で豊かな未来を創る「持続可能な開発」を実現する力を、世界各地に生きる私たちひとり一人が学び育むことを目指しています。

東日本大震災をふりかえり、今を見つめ、対話する『未来をつくるBOOK』

発行 : 認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議

企画・制作 : ESD-J「未来をつくるBOOK」制作チーム 編集協力 : 気仙沼市教育委員会

協賛 : 日能研 販売 : みくに出版 判型・ページ : A4判56頁 販売価格 : 700円(消費税込)

震災からのESDテキスト『未来をつくるBOOK』ご活用ください。 <http://www.esd-j.org/j/topics/topics.php?itemid=3223&catid=176>